

今世紀、最初で最後!?

平成の大工事



弘前城

動

日本一の桜の名所である弘前城。現在、本丸の石垣が外側に膨らむ「はらみ」がみられ、天守真下から広範囲に渡り石垣を修理することになりました。工事は、内濠を埋立て、弘前城天守の曳屋(ひきや)を行うなど、大規模なものとなります。



動!
弘前城

HIROSAKI MOVING
PROJECT 2015





平成の大工事、弘前城本丸石垣修理 弘前城動く！



石垣修理に至るまで

弘前藩四代藩主・信政が本丸東側石垣を完成させてから200年経った明治時代中頃、天守の下石垣が大きく崩壊。明治30年(1897)、石垣修理のため天守を本丸の内側へ曳屋しました。曳屋をしたのは、弘前市出身の大工棟梁・堀江佐吉です。この石垣修理は最終的に大正4年(1915)に完了しました。昭和58年(1983)5月の日本海中部地震後、石垣が膨らんでるのではないかと指摘を受け調査した結果、膨らみが大きく、そのまま放置すると天守を巻き込んだ石垣崩壊が起こる危険性があることが分かりました。今回の石垣修理は、明治～大正の修理から約100年ぶりの、天守曳屋を伴う修理になります。



100年前の天守曳屋／人力で天守を曳屋していますが、今回は機械を用います。

弘前城曳屋(ひきや)工事

石垣修理は弘前城天守の真下でも行われるため、天守を移動する必要があります。高さ14.4メートル、総重量約400トンの3層からなる天守が、約3か月かけて移動します。曳屋場所は背景に岩木山が見える位置を予定しており、弘前城の新たな観光名所になることでしょう。



現在



平成27年秋

天守曳屋工事想定図
天守は本丸中央部へ約70m移動します(予定)。曳屋工事中も本丸へは入場でき、平成28年4月1日から天守は移設先で公開する予定です。



関連イベント

お殿様・お姫様衣装着付け体験

お殿様・お姫様の衣装着身にまとい記念撮影が楽しめます。

- 期間／7月1日(水)～11月23日(火)及び雪燈籠まつり期間(平成28年度からは4月1日開始)
- 時間／午前9時～午後4時30分(終了)
- 場所／武徳殿(北の郭)
- 体験料／無料



(ただし、有料区域のため入園料が必要です。)

- その他／着付けのお手伝いをいたします。また、カメラ等持参のうえお越し下さい。

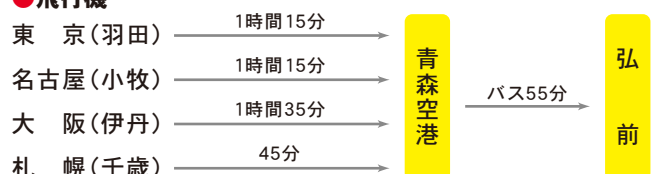
弘前城曳屋ウィーク

弘前城を引っ張ってみませんか？参加者には記念軍手、曳屋証明書の記念品を進呈します。

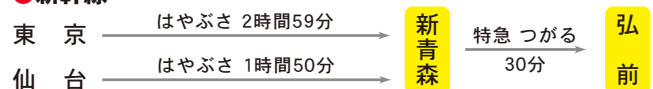
- 期間／9月20日(日)～27日(日)
- 時間／10時、11時、14時、15時 ※各回100名
- 場所／本丸
- 体験料／無料(ただし、有料区域のため入園料が必要です。)
- その他／事前に申込みが必要です。

交通アクセス

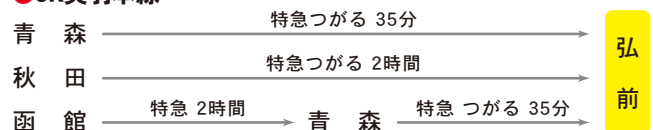
●飛行機



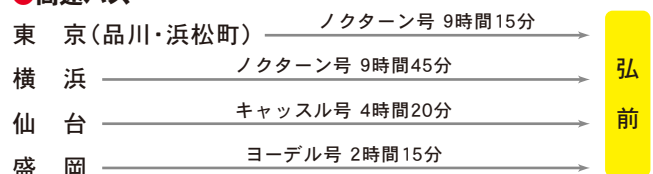
●新幹線



●JR奥羽本線



●高速バス



お問い合わせ

- 弘前市立観光館 TEL.0172-37-5501
- ひろさき魅カプロデュース室 TEL.0172-40-7123

詳しくは [弘前城 石垣プロジェクト](#) [検索](#)

